2015 年 7 月 3 日号

リスクフラッシュ 213 号

Risk Flash No.213
(Vol.6 No.11)

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
発行責任者：リスク研究センター長　久保英也
〒522-8522　滋賀県彦根市馬場 1-1-1　TEL:0749-27-1404
FAX:0749-27-1189 **e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp**
Web page : http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2

●地域観光の視点：井伊直弼公生誕 200 年記念事業と滋賀大学経済学部・・・・・・・・・・・・・・Page 1
●研究紹介：福浦厚子・・・・・・・・・・・・・Page 2
●リスク研究センター通信・・・・・・・・・・・Page 2

地域観光の視点

井伊直弼公生誕 200 年記念事業と滋賀大学経済学部

企業経営学科准教授　柴田淳郎（しばた あつろう）

2015 年 7 月 10 日から 12 月 23 日までの期間、彦根市では「井伊直弼公生誕 200 年祭」が開催されます。本事業の一環として、彦根市内において 200 年前から現在まで続く「商い」について、聞き取りや資料調査等々を行い、直弼公が見た！聞いた！利用した！かも？しれない「商い」の変遷についての展示会が開催されます。

宇佐美滋賀大学経済学部教授や彦根市役所地域経済振興課、そして、歴史民俗資料室等のご協力の下、現在、中塚滋賀大学経済学部非常勤講師と小生は、彦根市内に現存する老舗企業の調査を進めています。

実は、調査開始前は、彦根市内に 100 年を超えるような老舗企業はもう現存しないのではないか？と考えられていましたが、調査を進めるうちに、多くの企業が現存することがわかってきました。創業 300 年以上の歴史を有する企業が 5 企業、200 年以上 300 年未満の歴史を有する企業が 7 企業、100 年以上 200 年未満の歴史を有する企業は、調査中で現存するかどうかの確認はできていませんが、少なくともリスト上には、150 件が存在します。

本プロジェクトは、井伊直弼公生誕 200 年記念事業の一環として行われますので、創業 200 年以上の老舗企業が対象となっています。これらの企業の歴史や地域との関わりを解明し映像化・文書化することで、老舗企業と地域との関わりを彦根市の観光資源とするというのが本プロジェクトの目的・狙いとなります。

今回のプロジェクトでは、創業 350 年を超える老舗企業である「有川製薬」、同じく創業 300 年を超える「出口酒店」、同 250 年を超える「白金屋」、同 200 年を超える「いと重菓舗」を重点的に採り上げる予定です。

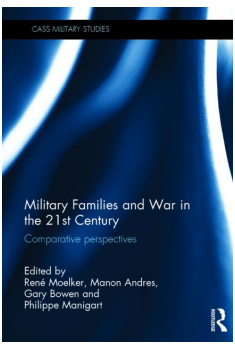
有川製薬を知ることは、それが立地する旧中山道の鳥居本宿や滋賀の製薬産業を知ることにつながります。また、出口酒店は、江戸時代は彦根の有力商人であり、布屋を営業していましたが、明治維新以降は酒の卸商を営んでいたこともあり花しょうぶ商店街の歴史を知ることにつながります。また、白金屋は代々の錺金具師であり、新町筋と呼ばれた現在の七曲がり通りや仏壇産業及び彦根の手仕事の歴史を知ることにつながります。また、いと重菓舗も出口酒店と同様に江戸時代は彦根の有力商人リストにその名が記され、井伊家の御用達商人であったことから、彦根の旧市街や和菓子産業の歴史を知ることにつながります。

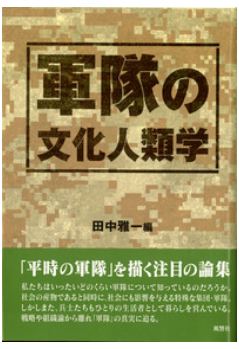
プロジェクトは始まったばかりで、老舗企業の存在や歴史を活用して、彦根市の製薬・仏壇・和菓子産業並びに旧中山道・花しょうぶ通り、七曲がり通り、旧市街という地域の観光資源の価値をいかに高めていくかに腐心しています。本プロジェクトの終了後には、本紙面でその成果をご報告したいと考えています。

研究紹介

文化人類学研究

社会システム学科教授　福浦厚子（ふくうらあつこ）





シンガポール華人の宗教と社会との関係について文化人類学的研究を行っていますが、そのほかに2004 年からは軍隊と社会との関係についても研究を行っています。とくに、軍事組織の家族や地域社会との関わりやジェンダーについて研究しています。

これまで、自衛隊の PKO やイラク派遣に伴う隊員やその家族にインタビューを行いました。軍隊に関する海外の研究では、軍隊は非常に欲張りな組織（greedy institutions）とされます。その名のとおり、軍隊は将兵に職務遂行を求めるのはもちろんのこと、その家族に対しても、組織に多大な貢献を直接的、間接的に求めます。自衛隊も例外ではありません。

その具体例はすでに書きましたが（「配偶者の語り――暴力をめぐる想像と記憶――」『国際安全保障』内外出版、第 35 巻(3)、2007 年。）、さらに、近年の問題点を指摘した論文が 2015 年 5 月に刊行されました。（Kawano, Hitoshi and Atsuko Fukuura, Family Support and the Japan Self-Defense Forces, Moelker, René, Manon Andres, Gary Bowen and Philippe Manigart eds., "Military Families and War in the 21st century: Comparative perspectives", London and New York: Routledge, 2015.）

また、軍事組織における女性のジェンダーについて、自衛官を例に研究を行い論文にまとめました。このなかで紹介する人たちはみな理解あるパートナーや親族、友人らの支えで職務の専門性を向上させることができた人たちですが、そこに至る過程で経験したジェンダーに関わる問題について議論しました。（「逡巡するも、続ける――軍事組織における女性のキャリア形成とライフ・イベント」田中雅一編『軍隊の文化人類学』風響社 2015 年 5 月刊行）　軍隊や軍事組織に関わる諸々のことは、多くの人にとってどこか遠い話のように思えるかもしれませんが、私たちの日常のなかにあり、不可分に関わることを社会との関係のなかで明らかにしようと取り組んでいます。

リスク研究センター通信

本日、平成 27 年 7 月 3 日(金)　18：00~20：30【雨天決行】
会場：滋賀大学経済学部キャンパス　生協会館前広場周辺にて七夕祭りが開催されます。
詳しくは、
http://www.shiga-u.ac.jp/2015/07/03/34140/をご覧下さい。

「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

【サービスの提供】
1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

【サービスの変更・中止・登録削除】
1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量が一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

【個人情報等】
1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

【免責事項】
1. 配信メールが回線上の問題（メールの遅延，消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

【著作権】
1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変して blog 等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。

*尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。

http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/3:12 ）

＊当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、
菊池健太郎、金秉基、久保英也、
柴田淳郎、得田雅章、山田和代

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局
(Office Hours:月ー金 10:00-17:00)
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1
TEL:0749-27-1404 FAX:0749-27-1189
e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp